

別紙防災備蓄倉庫図面

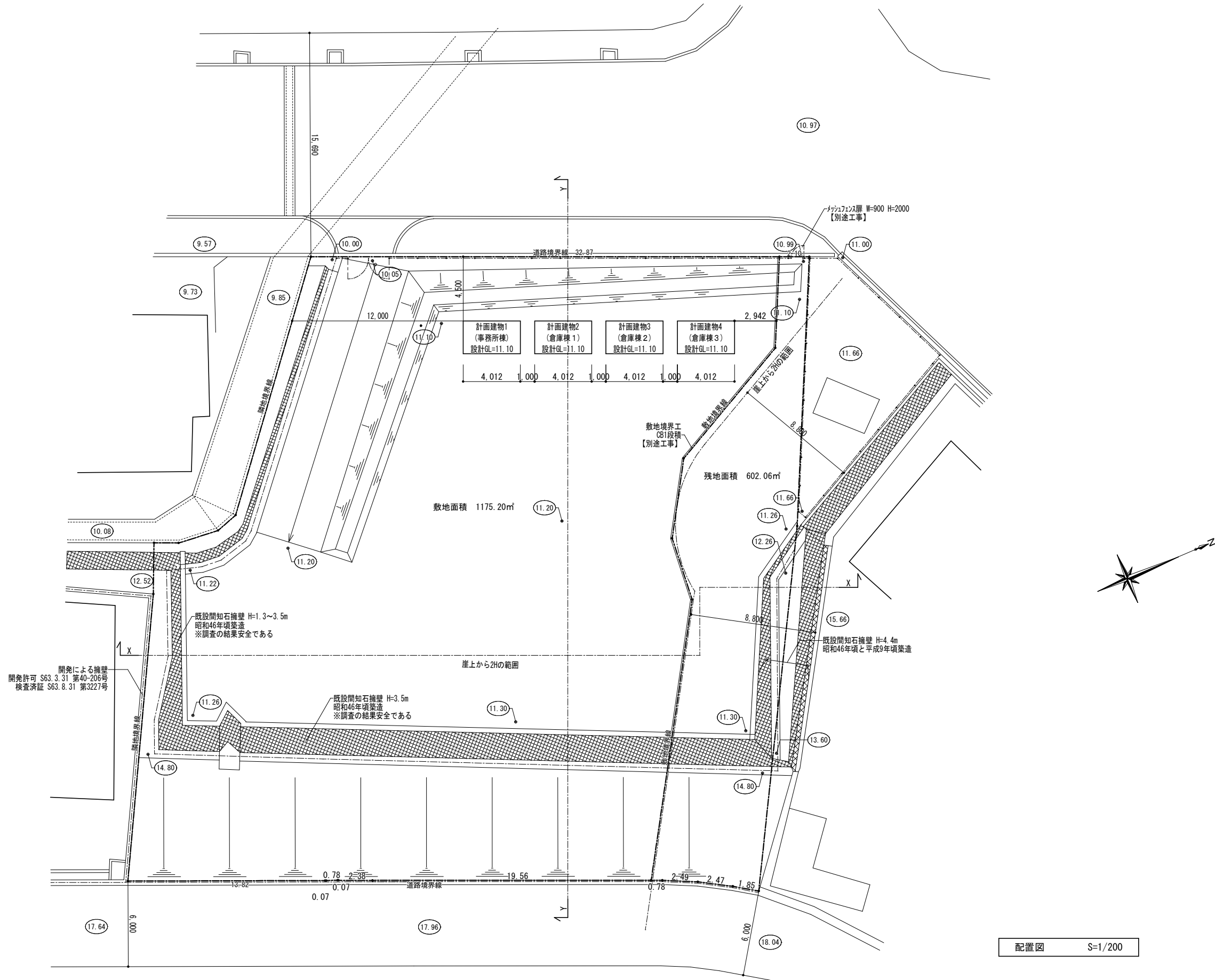
[illegible]

令和 8 年 7 月

株式会社 彩都建築設計

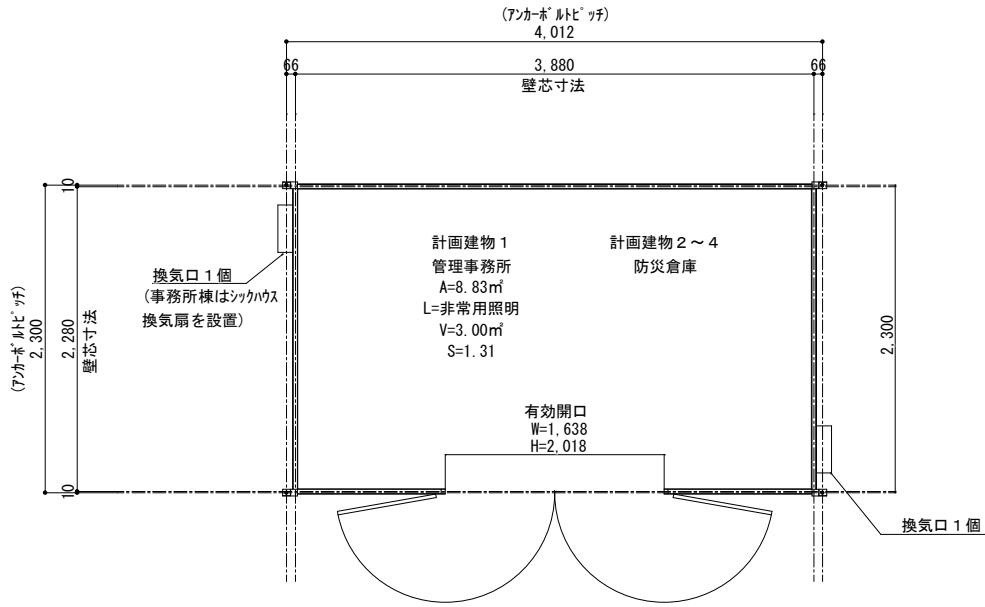
章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項	章	項	目	特	記	事	項																																													
共通事項	① 建設副産物の処理等		※構外搬出適切処理 本業務に伴い発生する建設副産物の処理に当たっては、「資源の有効な利用の促進に関する法律」及び「建設副産物の適正処理推進要綱」等に基づき、再資源化の積極的活用を図る。 「資源の有効な利用の促進に関する法律」、「建設副産物の適正処理推進要綱」、「建設業務に係る資材の再生資源化等に関する法律」（建設リサイクル法）、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」その他関係法令を遵守し、適切に処理し、計画書等を提出すること。 ・建設リサイクル法による事前通知書（解体業務80㎡以上、新築増改築業務500㎡以上、修繕・模様替業務1億円以上） ・再生資源利用計画書及び実施書 ・再生資源利用促進計画書及び実施書 ・引き渡しを要する物（図示による） コンクリート塊、アスファルトコンクリート塊及び建設発生材（解体廃材）については、再資源化施設の入入れ条件を勘案して、分別及び破砕又は切断を行った上で、再資源化施設に搬出すること。 非飛散性アスベスト成形板の場合は「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」、「アスベスト（石棉）廃棄物の処理について」、「石棉含有廃棄物等処理マニュアル」、「非飛散性アスベスト廃棄物の取扱いに関する技術指針」及びその他関連法令を遵守し、適切に処理すること。マニフェストの「産業廃棄物の種類」欄の余白に「非飛散性アスベスト成形板」と記載すること。 ※アスベスト含有物の除去等については 23撤去業務による	⑧ 業務報告 ⑨ 施工計画書 ⑩ 建築材料の製造所、製品及び施工法 ⑪ 官公庁その他の手続 ⑫ 出来形検査及び完成検査 ⑬ 警備安全	業務期間中は業務日誌、業務月報、週間工程表及び月間工程表を提出する。 標準仕様書による。 建築材料の製造所、製品及び施工法、施工業者等については原則監督員との協議により選定する。 業務に必要な官公庁、その他の手続きはすべて受注者が遅滞なく行い、これに要した費用は受注者の負担とする。 出来形検査及び完成検査は、事業主の検査を受け 合格した後、請求ができるものとする。 業務期間中は、受注者の負担責任において、交通誘導員を配置する。なお、交通誘導員とは、警備会社の警備員をいう。 生コンクリート車、資材搬入トラック等の頻繁な作業時には、必ず誘導員を配置すること。そのほか、誘導員の配置については必要に応じて発注者と協議すること。 ※警備報告書を下記のとおり提出する。 －公安委員会認定書（必要時） －警備日報	② 揮発性有機化合物の室内濃度の測定 測定項目ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン エチルベンゼン、スチレン 測定法※標準方法（厚生労働省の定める標準的方法） 採取方法：パッシブ式、またはアクティブ式 分析方法：高速液体クロマトグラフ測定法（ホルムアルデヒド） ガスクロマトグラフ測定法（上記以外） ・検知管法（厚生労働省の定める簡易測定法） 測定対象室（事務室） 測定箇所数は室の床面積A(㎡)による。 A≤50(1箇所) 50<A≤200(2箇所) 200<A≤500(3箇所) 500<A(4箇所) 合計測定箇所（）箇所 （注）パッシブ式は1箇所1検体採取 アクティブ式は1箇所2検体採取 測定業者環境計量証明事業者 報告書2部	鉄筋 ① 鉄筋の種類 ② 鉄筋の継手 ③ コンクリートの強度 ④ コンクリートの材料及び調合 ⑤ 構造体強度補正值 ⑥ 混和材料 ⑦ 塩化物量規制 ⑧ アルカリ総量 ⑨ 強度試験 ⑩ 打放し ⑪ 型枠	<table><tr><td colspan="4"></td></tr><tr><td>種別</td><td>径(mm)</td><td colspan="2">規格</td></tr><tr><td rowspan="2">異形鉄筋</td><td>SD295A</td><td>D10～D16</td><td colspan="2">JIS規格品</td></tr><tr><td>SD345</td><td>D19～D32</td><td colspan="2">(JIS G 3112)</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td colspan="2">規格品</td></tr><tr><td>溶接金網</td><td></td><td>6φ×100×100</td><td colspan="2">JIS規格品</td></tr><tr><td colspan="5">径19mm以上の柱梁の主筋に対しては、ガス圧接とする。 (SD345)</td></tr></table>					種別	径(mm)	規格		異形鉄筋	SD295A	D10～D16	JIS規格品		SD345	D19～D32	(JIS G 3112)					規格品		溶接金網		6φ×100×100	JIS規格品		径19mm以上の柱梁の主筋に対しては、ガス圧接とする。 (SD345)																													
									種別	径(mm)	規格																																																						
									異形鉄筋	SD295A	D10～D16	JIS規格品																																																					
										SD345	D19～D32	(JIS G 3112)																																																					
												規格品																																																					
									溶接金網		6φ×100×100	JIS規格品																																																					
									径19mm以上の柱梁の主筋に対しては、ガス圧接とする。 (SD345)																																																								
									共通事項	② 試験等 (1) 検査又は試験とその費用 ③ 完成写真		※産業廃棄物処理報告書を下記のとおり提出する。 －処理、収集運搬業者との委託契約書（写） －収集運搬業許可書、処分業許可書（写） －収集運搬、処理のフローチャート（手順表）及び運搬経路の地図（現場－中間処理－最終処分地）と各施設の写真 －産業廃棄物管理票（マニフェスト）（写）、計量伝票及び集計表 －運搬車の登録番号（ナンバープレート）リスト －処分会社が発行する建設廃棄物処理証明書（電子マニフェストシステムにより処分の事実が証明できる場合を除く。）	⑭ 業務用資材搬入計画 ⑮ 作業時間及び休日 ⑯ 養生移設 ⑰ 作業跡地整理 ⑱ 施工体制台帳及び施工体系図 ⑲ 補修アフターサービス ⑳ 業務表示	業務着手前に施設管理者と十分協議を行った上、仮設計画書とともに業務資材搬入計画書を作成し、監督職員の承諾を得る。なお、道路、民家等に損害を与えた場合は、受注者において損害賠償を行うこと。 遵守事項による。 業務によって支障物件が発生した場合は、監督職員の指示又は承諾する方法により、養生又は移設し、原則として現状復旧とする。 業務完成時には敷地内の泥土、作業残骸を完全に搬出し、購入土にて整地転圧する。道路、その他の施設については現状復旧する。 受注者は、「入札契約適正化法」「建設業法」等に基づき施工体制台帳及び施工体系図を作成し業務現場に備えるとともに、監督職員に提出するものとする。なお、警備会社についても施工体系図に組み込むものとする。 コンクリート及びモルタル塗部分のクラック、浮きについては、3年間補修アフターサービスを行うこと。保証書1部提出すること。 業務期間中は業務名称、業務期間、設計・監理、施工業者、その他必要事項を記入し、指示する場所に2箇所以上表示すること。なお、「お願い」看板も同様とする。（900×1、800程度）	① 設計 G L ② 業務用水 ③ 業務用電力 ④ 災害防止 ① 埋戻し及び盛土 ② 建設発生土 ③ 山留め	図示による。 構内既存の施設※利用できない・利用できる ・監督員と協議による 構内既存の施設※利用できない・利用できる ・監督員と協議による 引渡しまでの電力、給水の基本料金及び使用料金は、業務区分表による。 作業場の内外を問わず業務実施に伴う危険防止・騒音防止・風水害防止等のため、建築基準法・労働基準法・消防法・電気工作物規則・建築業務安全施工技術指針・その他関係法規に従って、常に遺漏ないよう適当な方策を講じること。 他に損害を与えた場合は、受注者はその責を負わなければならない。	① 防災倉庫	I類 普通ポルトランドセメント 設計基準強度（F _c =N/mm ² ）備考 <table><tr><td>普通</td><td>構造体（各階スラブ）</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td rowspan="2">擁壁</td><td>RC造</td><td>2</td><td>1</td></tr><tr><td>重力式</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>舗装</td><td>車道</td><td>2</td><td>4</td></tr><tr><td>業務</td><td>歩道</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td rowspan="2">排水業務</td><td>街きよ、縁石、側溝</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>土間、外構業務</td><td>1</td><td>8</td></tr><tr><td>ト</td><td>軽量コンクリート</td><td>比重1.85</td><td>1</td><td>8</td></tr></table> 設計基準強度18N/mm ² 以下の土間、側溝等のコンクリート及びこれらの基礎コンクリートは、監督職員の承諾を受けて標準仕様書6.3.2「コンクリートの調合」（2）「調合条件」から変更することができる。 <table><tr><td colspan="2">3N/mm²</td><td colspan="2">6N/mm²</td></tr><tr><td>2/23</td><td>～</td><td>7/1</td><td>7/2</td></tr><tr><td>9/13</td><td>～</td><td>11/30</td><td>12/1</td></tr><tr><td></td><td></td><td>～</td><td>2/22</td></tr></table>	普通	構造体（各階スラブ）	2	1	擁壁	RC造	2	1	重力式	1	8	舗装	車道	2	4	業務	歩道	1	8	排水業務	街きよ、縁石、側溝	1	8	土間、外構業務	1	8	ト	軽量コンクリート	比重1.85	1	8	3N/mm ²		6N/mm ²		2/23	～	7/1	7/2	9/13	～	11/30	12/1			～	2/22
																			普通	構造体（各階スラブ）	2	1																																											
擁壁	RC造	2	1																																																														
	重力式	1	8																																																														
舗装	車道	2	4																																																														
業務	歩道	1	8																																																														
排水業務	街きよ、縁石、側溝	1	8																																																														
	土間、外構業務	1	8																																																														
ト	軽量コンクリート	比重1.85	1	8																																																													
3N/mm ²		6N/mm ²																																																															
2/23	～	7/1	7/2																																																														
9/13	～	11/30	12/1																																																														
		～	2/22																																																														
共通事項	④ 工事写真 ⑤ 完成図 ⑥ 技能士 ⑦ 各別途業務との取合		業務着手前、業務中、完成時、事故発生時及び監督職員の指示する場所を撮影し、L版相当サイズで印刷し提出する。（A4版用紙1ページあたり3枚） 提出部数は1部とし、データもCD-R等に整理して提出のこと。 業務完成後、監督職員の指示に従い完成図を作成のうえ、下記のとおり提出する。 二つ折黒文字製本（1）冊 縮小版二つ折黒文字製本（1）冊 マイクログラフィウム一式 図面データ（CD-R等） ①JWW・SXF（又はDXF） ②PDF・その他任意のCAD形式 ・JPEGもしくはTIFF	②1 成果品 ②2 その他 ②3 作業中の安全確保及び環境保全	(1) 雨天の場合等やむを得ない場合を除き、内部施工中は極力サッシ等を開放し、通風及び換気を行う。また物入れ、キッチンキャビネット及び押入れ等閉塞箇所の扉などでもできるだけ開放し、通風及び換気を行う。 (2) 内部において接着剤又は塗料を用いて施工する場合、その使用量、塗布量、乾燥期間及び施工中における窓開放等に関する事項を施工計画書に明記するとともに、作業者に対しても指導を行う。 (3) 内部において接着剤を用いて施工する場合、完成日までに十分な換気を行う。	① 砂利、割り石、捨コンクリート ② 載荷試験	① 防災倉庫	① 補助工業株式会社 FK-4024 同等品																																																									
									分	類	規	格	撮影箇所数																																																				
									カラー	※L版	各室	2面																																																					
										※2L版	外観	2面以上																																																					
										・四切り	外観	2面額入																																																					
									(2) 提出部数は ※1部 ・2部 とする。 データもCD-R等に整理して提出のこと。 (3) 撮影者は監督職員の承諾する専門業者とする。																																																								
									業務着手前、業務中、完成時、事故発生時及び監督職員の指示する場所を撮影し、L版相当サイズで印刷し提出する。（A4版用紙1ページあたり3枚） 提出部数は1部とし、データもCD-R等に整理して提出のこと。																																																								
									業務完成後、監督職員の指示に従い完成図を作成のうえ、下記のとおり提出する。 二つ折黒文字製本（1）冊 縮小版二つ折黒文字製本（1）冊 マイクログラフィウム一式 図面データ（CD-R等） ①JWW・SXF（又はDXF） ②PDF・その他任意のCAD形式 ・JPEGもしくはTIFF																																																								
									摘要業務種別 ○鉄筋 ○コンクリート ・鉄骨																																																								
									(1) 施工範囲 業務区分一覧表による。各別途業務との取合い納まり等、図示なき部分も遺漏なきよう施工のこと。 (2) 施工図 業務着手と同時に1/30程度の平面図、天井伏図及び展開図を作成（コンクリート図より優先）し、設備機器の位置など記入、監督職員の承諾を受ける。業務完成後CD-Rに整理して提出をすること。 （完成図と同様）																																																								
① 補助工業株式会社 FK-4024 同等品																																																																	

備考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office 一級建築士(大臣)第345216号 松田輝明			製図	検図	担当	工事名称	別紙防災備蓄倉庫図面	作成年月日	図面番号
							図面名称	特記仕様書	縮尺	A-01
									—	

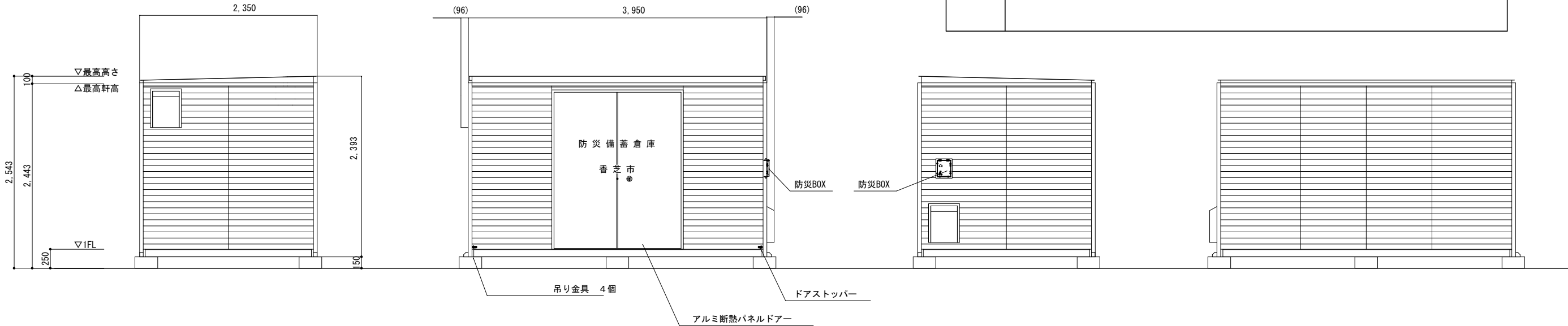


配置図 S=1/200

備 考	一 級 建 築 士 事 務 所		製 図	検 図	担 当	工事名称	別紙防災備蓄倉庫図面	作成年月日	図面番号 A-02
	株 式 会 社 彩 都 建 築 設 計					図面名称	配置図	縮 尺	
	Saito Architect and Design office 一級建築士(大臣)第345216号 松田輝明							1/200	



平面図 S=1/40



北面立面図 S=1/40

東面立面図 S=1/40

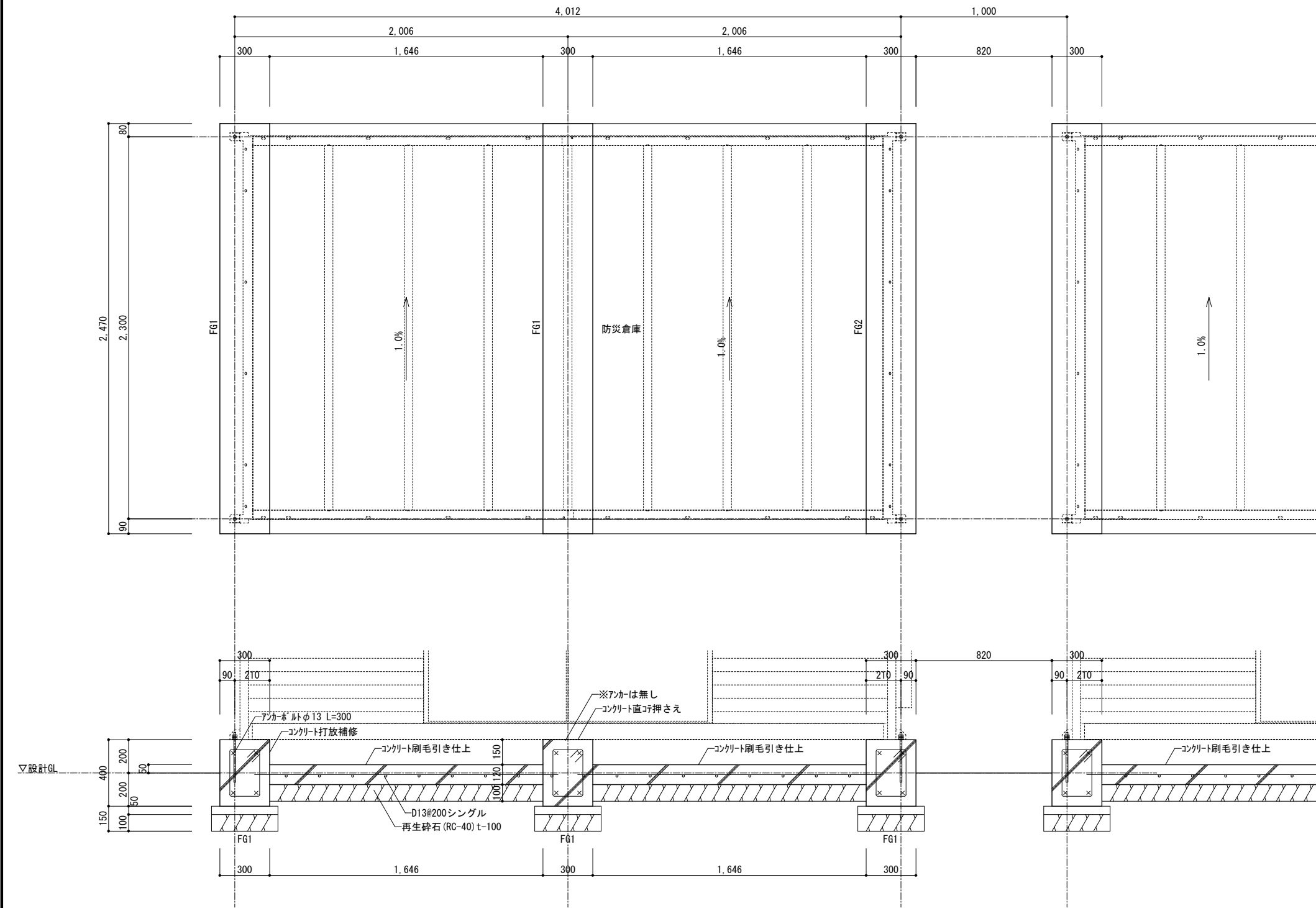
南面立面図 S=1/40

西面立面図 S=1/40

仕様書			AL
構造/規模	鉄骨造・平屋建て		W=3950mm D=2350mm H=2393mm 約9.28㎡（外寸で計算）
			W=3880mm D=2280mm mm 約8.84㎡（壁厚中心で計算）
			内側寸法W=3840 D=扉部分除く約2240 H=2180
柱/梁	ペーフレーム	SUS304 t3X100X60以上 一部電気垂鉛メッキ銅板、板曲げ材t=3.2X100X50以上グレー塗装	
	コーナーポスト	ステンレス製（SUS304） t2.0mm以上 50mmX50mm以上	
	外側構造材	ステンレス製（SUS304） t1.5mm以上	
	補強骨	電気垂鉛メッキ銅板t=1.6mm以上及びt2.3mm以下	
屋根	厚さ t1.0mm以上アルミ合金製1枚板 （クリアー塗装）		
外壁	厚さ t0.8mm以上波板加工が施されたアルミ合金製板（クリアー焼付け塗装）		
扉	扉枠	ステンレス製（SUS304） t1.5mm 以上	
	扉本体	アルミ断熱パネルドア（7#ミ5052材7#ナイト付 表板t1.5mm以上）	
	錠前	ミフU9同等品 （握り玉はステンレス、鍵3本）	
内装	床は厚さt12mm以上の滑り止め塗装 耐水合板、 壁と天井は厚さt4mm以上の化粧合板とする		
断熱材	壁および天井部に厚さt30mmの断熱フォーム（またはグラスウールt50）扉にt20mmの断熱フォーム		
換気口	300mmX300mm以上を2ヶ所以上、防虫網、雨除けフード、アルミ合金製（クリアー塗装）付き		
外装	外装表面部は7#ミ、ステンレス材を使用、および塗装		
備考	防災BOX（地震感知式鍵収納箱）を1台設置		
	文字記入とソーラー換気扇を1台設置（事務所棟のみ換気扇設置）		

[文字の仕様]:
防災倉庫: 文字の色 黒色
丸ゴシック体 太字
一文字 350×350mm
香芝市: 文字の色 黒色
丸ゴシック体 太字
一文字 200×200mm
※香芝市が指定する市章

備 考	一級建築士事務所			製 図	検 図	担 当	工事名称	別紙防災備蓄倉庫図面	作成年月日	図面番号
	株式会社 彩都建築設計						図面名称	平面図・立面図	縮 尺 1/40	A-03
	Saito Architect and Design office									
	一級建築士(大臣)第345216号 松田輝明									

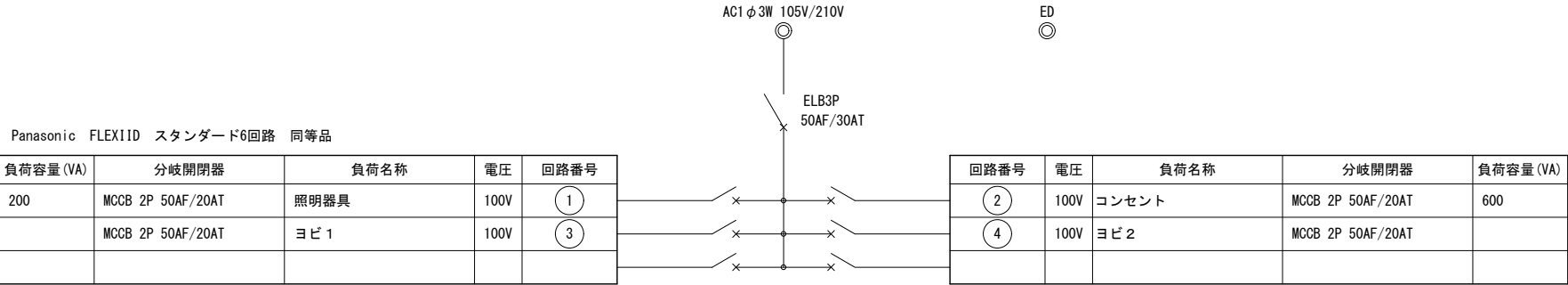


長期地耐力 30KNを簡易支持力測定器(キャスボル)等で確認の上施工する事。

基礎詳細図 S=1/20

符 号	FG1	
位 置	全断面	
断 面		
BxD	300x400	
上端筋	2-D13	
下端筋	2-D13	
スターラップ	D10@200	
腹 筋		

備 考	一級建築士事務所 株式会社 彩都建築設計 Saito Architect and Design office 一級建築士(大臣)第345216号 松田輝明	製 図	検 図	担 当	工事名称	別紙防災備蓄倉庫図面	作成年月日	図面番号
					図面名称	基礎詳細図	縮 尺	A-04
							1/20	

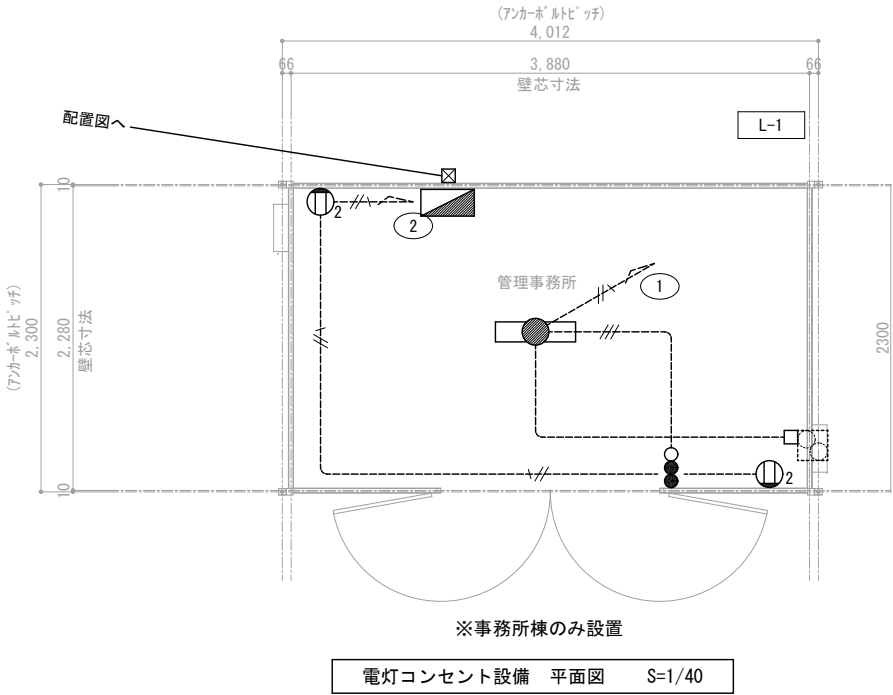


照明器具姿図

番号	パナソニック 直付XDL201AGNLE9 同等品
----	---------------------------

非常灯タイプ、800lm（FL20形×1灯器具相当）
常時：ライトバー点灯、非常時：本体組込LED（一般出力型）点灯
電圧：100～242V対応、蓄電池：ニッケル水素電池
非常灯評定番号：LAL E-027
非常用LEDレンズ：ガラス、常用ライトバー：ポリカーボネート（乳白）
光束維持時間4000時間（光束維持率85%）、点検スイッチ付
自己点検スイッチ付、充電モニタ（緑）付、

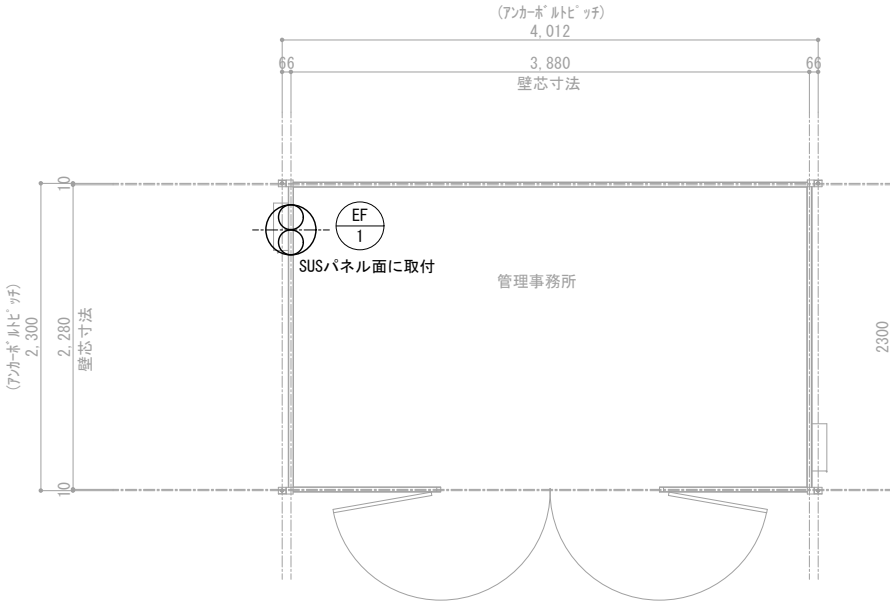
凡例		
記 号	名 称	備 考
-----	EM-EEF 2.0x3 (MMA)	
-----///-----	EM-EEF 1.6x3 (MMA)	
-----//^-----	EM-EEF 1.6x3 (MMA)	
	電灯分電盤	盤図参照
	露出2口コンセント 2P15A×2	
	アウトレットボックス	
	ブルボックス SUS製 200x200x100	
	ベースライト FL20x1灯相当 天井付（非常用照明器具）	
	埋込スイッチ 1P15A×1	
	PL	



換気設備 機器リスト

機器記号	台数	名 称	機 器 仕 様	電気容量		設置場所	参考品番
				φ-V	消費電力		
EF 1	1	換気扇	パイプ用ファン φ75 壁取付型	1-3	2.1	管理事務所	
			インテリアパネル付、SUS製ベントキャップ、防虫網付				

シックハウス換気計算
床面積 8.83㎡x2.1=18.55m3
必要換気量 18.55m3 x 0.3回=5.57m3/h
有効風量 36m3/h よってOK



※事務所棟のみ設置

換気設備 平面図 S=1/200

備 考	一級建築士事務所			製 図	検 図	担 当	工事名称	別紙防災備蓄倉庫図面	作成年月日	図面番号
	株式会社 彩都建築設計						図面名称	換気設備 平面図	縮 尺 1/40	M-01
	Saito Architect and Design office									
	一級建築士(大臣)第345216号 松田輝明									